

団体認証研修〈青果物・穀物・茶〉の概要

団体認証研修の目的

この研修は、農林水産省「農業生産工程管理(GAP)の共通基盤に関するガイドライン」に対応したJGAPを用い、GAPの団体管理の手法を通じてGAPの実務者リーダーを養成し、GAPの効果的な全国普及を目指すことを目的としています。なお、この研修はJGAP/ASIAGAP団体事務局用基準書で求められる「内部監査員」の要件を満たしております。

団体認証研修〈青果物・穀物 および 茶〉内容

- ・「GAPとは」JGAPの概要・JGAP基準の解説
- ・団体認証研修の概要
- ・団体認証への取り組み
 - ☆模擬演習1:役割分担
- ・団体管理マニュアル
 - ☆模擬演習2:団体管理マニュアルの作成
 - ・団体統治に必要なその他のルール
 - 違反に対する措置、トレサビリティ、苦情対応・回収、文書・記録の管理
- ・内部監査
 - ☆模擬演習2:内部監査模擬演習
 - ☆模擬演習4:不適合一覧の作成
- ・団体認証の審査
- ・質疑応答
- ・試験配布・説明
- ・受講者アンケートの回収

試験および修了合格の基準

- ・団体認証研修には持ち帰りの試験があります。研修終了時に試験用紙を配布いたしますので、解答の上、提出期限までに郵送してください。
- ・本研修では、試験の結果だけでなく、個人的特質や審査力量についても評価し、合否を判定します。合格基準は以下の通りです。
 - ① 研修期間中の出席時間が全体の90%を超えていること。
 - ② 個人的特質の継続的観察評価の9項目に著しい欠落事項がないこと。
 - ③ 審査力量の評価の4項目において著しい欠落事項がないこと。
 - ④ 試験の結果が80点を超えていること。

- ・ **個人的特質**の継続的観察評価は、研修期間中に講師が観察し評価いたします。評価項目は以下の通りです。
 - ① 倫理的である。すなわち、公正である、信用できる、誠実である、正直である、そして分別がある。
 - ② 心が広い、すなわち、別の考えかた又は視点を進んで考慮する。
 - ③ 外交的である。すなわち、目的を達成するように人と上手に接する。
 - ④ 観察力がある。すなわち、物理的な周囲の状況及び活動を積極的に意識する。
 - ⑤ 知覚が鋭い。すなわち、状況を直感的に認知し、理解できる。
 - ⑥ 適応性がある。すなわち、異なる状況に容易に合わせる。
 - ⑦ 粘り強い。すなわち、根気があり、目的の達成に集中する。
 - ⑧ 決断力がある。すなわち、論理的な思考及び分析に基づいて、時宜を得た結論に到達する。
 - ⑨ 自立的である。すなわち、他人と効果的なやりとりをしながらも独立して行動し、役割を果たす。

- ・ **審査力量**の評価は、研修期間中に講師が観察し評価いたします。評価項目は以下の通りです。
 - ①「公正な報告」を評価する際の観点
 - ・不適合の根拠が正確であること
 - ・思いこみによる審査ではないこと
 - ・受審組織の言い分を反映していること
 - ②「職業専門家としての正当な注意」を評価する際の観点
 - ・持論を押しつけないこと
 - ・審査の重点がずれていないこと
 - ・審査基準を押しつけないこと
 - ・受審組織の回答に耳を傾けること
 - ・審査基準を十分理解していること
 - ・受審組織のシステムを正確に理解していること
 - ・受審組織に質問を正確に伝えていること
 - ③「独立性」を評価する際の観点
 - ・受審組織の圧力に屈しないこと
 - ・突発的な事態に冷静に対応していること
 - ・明確な根拠に基づかず不適合を取り下げないこと
 - ④「証拠に基づくアプローチ」を評価する際の観点
 - ・不適合が客観的な証拠に基づいていること
 - ・サンプリングが適切であること
 - ・不適合に至る調査が十分であること

合否の発表、再受講、再試験について

- ・評価・採点の結果、合格した受講者には合格証を送付いたします。また、日本 GAP 協会より指導員カードが送付されます。(試験受領から合格証送付までにおおむね 1.5 ヶ月の期間を要します)
- ・試験の得点が 80 点未満の受講者は、1 か月以内に 1 度だけ試験を再提出することができます。試験の再提出をしても不合格となった受講者には、修了証を送付いたします。
- ・研修期間中の出席時間および個人的特質の継続的観察評価、審査力量の評価が基準を満たせない受講者は、12 か月以内に 1 度だけ再受講することができます。再受講しても条件を満たせない場合には、修了証を送付いたします。